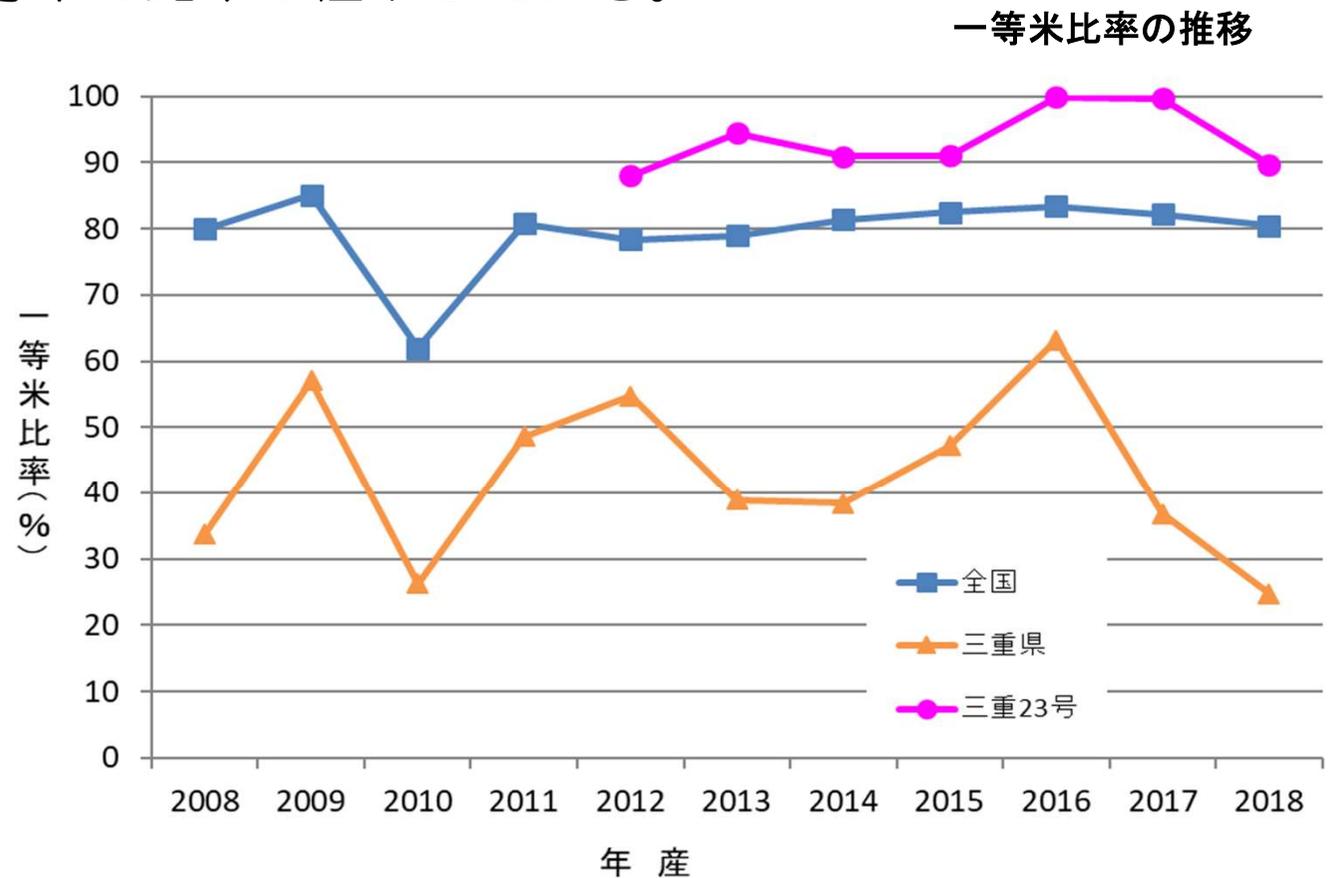


米（夏の暑さに強い新しい米「結びの神」）

【農業研究所】

- 夏季の高温で県内の一等米の比率が低下している。
- 高温対策として
新品種(三重23号)を
開発した。
- 三重23号の作付け
面積、生産量は順調に
伸びている。
- 三重23号は、
「結びの神」のブランド
名で販売されている。



米（夏の暑さに強い新しい米「結びの神」）

【生産者】

- 夏季の高温でコシヒカリの生産に影響が出ている。
- 三重23号は高温に強く、食味も良い。強い風にも倒れにくい。
- 今後の気温上昇に備えて、さらなる品種改良を期待している。

冷めても美味しいぞ。
おにぎりにピッタリ
じゃ。



高温登熟性試験



温室内の高い気温での稲の生育を確認する

イチゴ（炭疽病に負けないイチゴ「かおり野」）

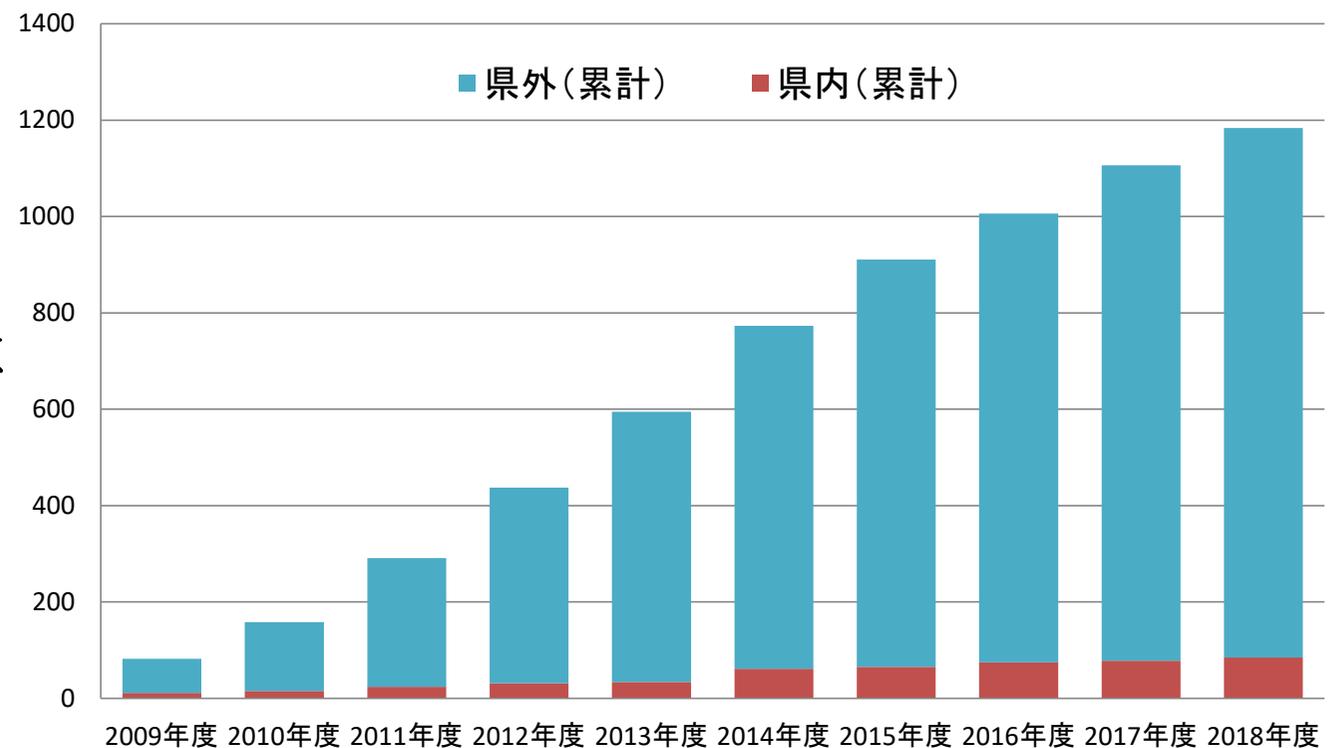
【農業研究所】

- 夏季の高温化で、炭疽病発生のリスクが高まっている。収穫時期が遅くなっている。
- 炭疽病対策として、18年かけて新品種「かおり野」を開発した。
- 「かおり野」の生産は全国に広がっている。



単位：件

生産許諾件数の推移



イチゴ（炭疽病に負けないイチゴ「かおり野」）

【生産者】

- 炭疽病の影響は大きい。

2018年は炭疽病により別の品種（章姫）で苗不足が起こった。



ヒアリング結果



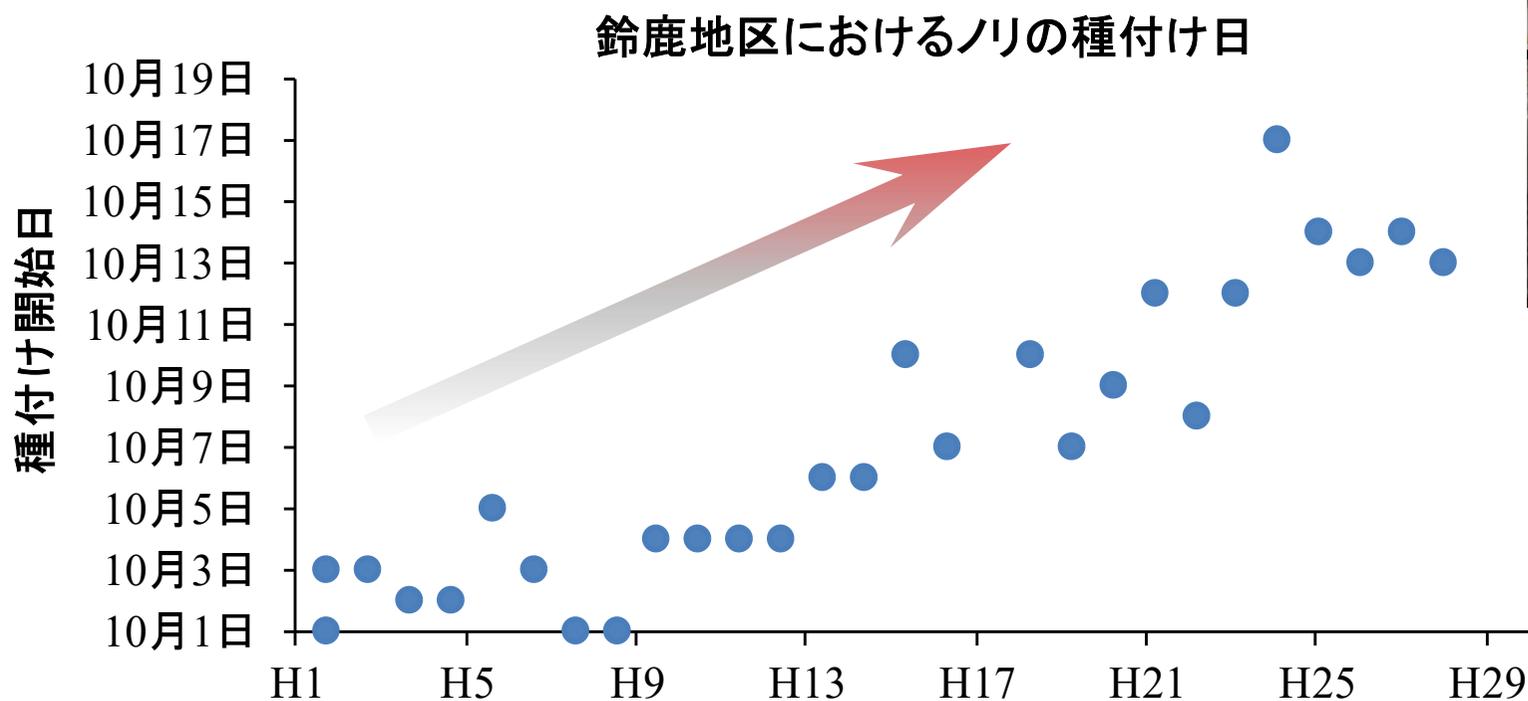
- かおり野は炭疽病に強い。
需要があり価格も高い早い時期から収穫できる。
- 気候変動は、気温、雨、台風等様々な面でイチゴ栽培に影響がある。
気温上昇による害虫の増加、豪雨による炭疽病発生リスク拡大、台風によるハウスの倒壊が懸念される。

黒ノリ (高い水温でも育つ黒ノリ「みえのあかり」)

ヒアリング結果

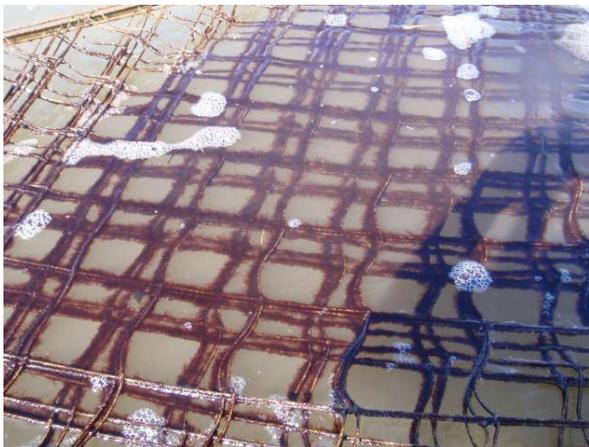
【水産研究所 鈴鹿水産研究室】

- 海水温の上昇で、黒ノリの種付け時期が遅れている。
- 高い水温でも栽培できる新品種「みえのあかり」を開発した。



黒ノリ (高い水温でも育つ黒ノリ「みえのあかり」)

ヒアリング結果



育苗開始20日程度のノリ



育苗中の網は、干潮時には網が水面上に出る



浮き流し式養殖
(育苗後、岸辺近くから網を沖合に移す)

【生産者】

- 年を追うごとに種付けの時期が遅くなっている。
- 海水温の変化が不安定なため、種付けをする時期を見極めるのが難しい。
- 水温も問題だが、今、最も困っているのは色落ちの問題。
- 今のままだと黒ノリの養殖適地は北上していく。
水産研究所には、新品種の開発を期待している。